

新執行部体制について

前田健康歯学部長が再任されたことに伴い、副学部長に小野和宏教授（学務担当兼評議員）、宮崎秀夫教授（歯学科長兼渉外担当兼医歯学系副学系長兼評議員）、魚島勝美教授（国際担当）が再

任され、新たに研究担当副学部長として寺尾豊教授が任命されました。また大内章嗣教授（学部長補佐）、葭原明弘教授（口腔生命福祉学科長）も再任されました。

歯科総括副病院長の選任について

興地隆史前歯科総括副病院長の退職に伴い、高木律男教授が歯科総括副病院長に選出されました

（平成27年1月1日付）。また小林正治教授が副病院長（企画運営 [歯]）に発令されました。

教授人事について

包括歯科補綴学分野担当教授として、平成26年10月1日付で小野高裕先生（前大阪大学大学院歯

学研究科准教授）が発令されました。

平成27年度概算要求事項の採択について

平成27年度政府予算案が決定されたことにより、文部科学省より、歯学部分として以下の予算の内示がありました。

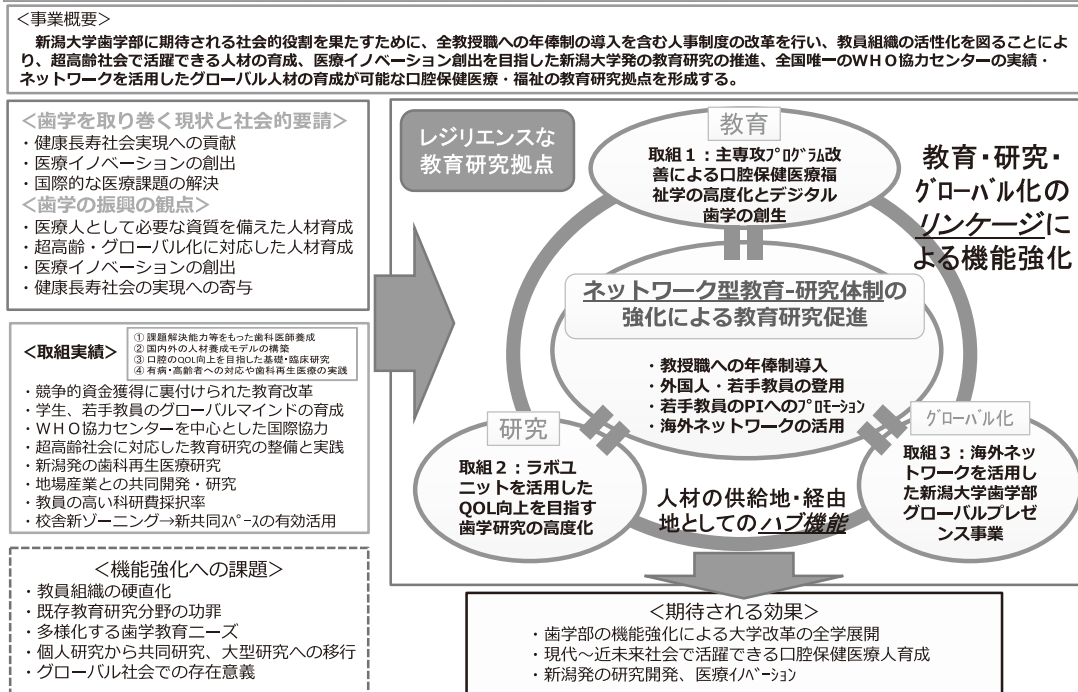
◇特別経費プロジェクト分

- ・ネットワーク型教員組織の構築によるレジリエンスな教育研究拠点の形成（新規事業）

【概要】平成27年4月から教授職全員への年俸制導入を端緒とした教員活性化策を行い、超高齢化した現代社会で活躍できる口腔保健医療

福祉人材の育成、医療イノベーション創出を目指した新潟大学発の教育研究の推進、全国唯一のWHO協力センターの実績・ネットワークを活用したグローバル人材の育成が可能な口腔保健医療・福祉の教育研究拠点を形成し、得られた成果を日本国内の歯学部に波及させる事により、新潟大学歯学部・大学院医歯学総合研究科（歯学系）の持続的な改善・発展を図ることを目的としています。

新潟大学 ネットワーク型教員組織の構築によるレジリエンスな教育研究拠点の形成



・現代社会に対応する実践的口腔医療人育成プログラム — 組織体制整備と質保証に裏付けられた教育改革 — (継続事業)

◇施設整備補助事業

・校舎改修（歯学系E、E'棟）（平成26～27年度2年目）

大型改修第3期工事として要求していたものが認められ、約6,000㎡の改修工事の継続が認められました。本年夏の竣工を目指します。

このほか、新規プロジェクト事業に関連して、平成26年度国立大学改革強化推進補助金特定支援型「優れた若手研究者の採用拡大支援」により特任教員（年俸制）3名が配置されました。本事業は硬直化した人事制度の解消、若手人材の登用を目指すもので、シニア教員から若手教員への転換を図り教育研究の活性化を目指す文部科学省事業です。本学部・研究科でも機能強化の方向性をみずえ、積極的な若手人材の登用、外国人教員の採用を行っていく必要があります。

臨床系基礎実習室の整備完了について

総診技工室（学生技工室）を含む臨床系基礎実習室はE、E'棟に配置されていましたが、大型改修第2期工事の完了により、AおよびB棟に新たな実習室を整備し、供用を開始しました。臨床実習技工室（旧総診技工室）は臨床実習中の学生の動線を考え、B棟4階に、その隣には臨床基礎技能実習室（旧補綴・小児実習室）を、その間に共

同技工室を配置しました。B棟3階にはファントムを備えた臨床基礎実習室（旧保存・矯正実習室）と歯科ユニット10台を設置した歯科行動科学相互実習室（新設）を配置しました。A棟3階には臨床示説室、臨床技能評価室および臨床技能自習室を配置しました。また実習室に不可欠な基盤設備である、バキューム、コンプレッサー等は

旧公用車車庫に配置しました。なお、臨床系基礎実習室の整備完了に伴い、歯学部内に新たに臨床系実習室管理委員会を設置しました。この委員会ではこれら臨床系実習室の管理・運営を行うこと

とし、各実習室の使用方法・日程調整、実習設備の機器更新、将来構想等を審議することとしました。



A棟 3階 臨床示説室



B棟 3階 臨床基礎自習室



B棟 3階 歯科行動科学相互実習室



B棟 4階 臨床基礎技能実習室



B棟 4階 臨床実習技工室



B棟 4階 共同技工室

総合研究棟（歯学系：歯学部校舎） 改修工事（第3期）の開始について

大型改修工事の第3期工事として、歯学部校舎 E、E'棟の改修工事が始まりました。E、E'棟の1、2階には講義室、PBL室（12室）、基礎系実習室、学生ロッカー室などの学生ゾーン、3～5階には教員研究室、コモラボなどの研究ゾーンが配置されるとともに、共同研究に資する全学共

同スペースが整備されます。工事期間中は仮移転場所の旧歯学部附属病院からC棟への動線、騒音、振動により、教職員、学生諸君にはご迷惑をおかけすると思いますが、ご配慮のほど、よろしくお願い致します。



E、E'棟改修後配置図

学生との懇談会の開催について

平成26年11月25日の17:00から、学部長、学務委員長及び関係事務職員と歯学部学生との懇談会が開催されました。話題は「校舎改修中における学生からの要望等について」で、学部長からの話題提供、小野学務委員長からの歯学科新カリキュラムの概要説明の後、学生からの要望などについて意見交換が行われました。

学生からの要望事項として、カリキュラム、個別授業、国家試験、校舎・教室、課外活動、キャンパス内施設等、多岐にわたりました。要望が強くかつ緊急性の高かった学生アメニティーホールへの電子レンジの増設、口腔生命福祉学科教室の

掃除機の設置に関しては、既に対応を済ませました。個別授業に関して、学生諸君から「教員自身の研究内容や教育方針に固執している」、「学生の理解度を確認せずに授業を進行したり、時間外の拘束を当たり前とした授業運営は疑問」といった厳しい意見も出され、学務委員長を中心とした学務委員会で改善策を検討することとしました。また、休日の校舎内への入構希望が寄せられましたが、学部長からは「セキュリティの関係で難しいので、図書館を利用して欲しい」、「C棟7階の自習室に加え、A棟に学生自習室を新設したので、活用して欲しい」の発言があった。



学生との懇談会の様子



整備した自習室



要望により整備した電子レンジ



要望により整備した掃除機

留学生交流支援制度（短期受け入れプログラム及び短期派遣プログラム）の採択について

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が公募していた留学生交流支援制度の採択結果が通知されました。この事業はこれまでショートステイ・ショートビジット（SSSV）事業として展開されてきましたが、一昨年度より、新たに留学生交流支援制度として発足したものです。歯学部から単独事業として1件、連携事業（新潟大、東北大、広島大）として1件応募し、短期派遣事業（短

期研修・研究型）として「歯学部学生の世界展開力涵養支援によるグローバル人材育成プログラム」、「3大学歯学部協働による国際歯科医療人育成プログラム」の2件が採択されました。

なお、本事業による奨学金受給には各種制限が設けられており、特に成績不良の学生には奨学金を支給できないこととなりましたので、短期留学希望者は成績向上に努めるようお願いします。

日本学術振興会学術システム研究センタープログラムオフィサー就任について

平成27年4月1日付で前田健康教授が日本学術振興会学術システム研究センタープログラムオフィサー（医歯薬学専門調査班専門研究員〔歯学〕）に選出されました。専門調査員は日本学術振興会の事業に対し、審査体制に関する提案・助

言、審査委員等の候補者案の作成、審査・評価結果の検証・分析、顕彰事業における予備審査、専門調査班会議、審査会等への出席、学術研究動向に関する調査・研究等の業務を担当します。任期は3年間。

